

● 草の根パートナー型

平成16年度第1回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	ラオス
2. 事業名	ラオス・カムアン県における持続的な森林管理、及び総合農村開発プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	ラオス・カムアン県はラオス北部に比べて、豊富な森林が残されている。ここに暮らす村人の生活は森林資源と密接に関わっており、特に米不足や不測の事態には、林産物の採取や、これらの販売により生活を補っている。しかし、ラオス政府の開発プロジェクトや企業活動によって村人の合意がないままの森林伐採が進行し、問題となっている。一方で、人口増加に伴う農地拡大の必要性などから、村人による森林の伐開も拡大している。こうした事情から、村人による持続的な森林資源の管理・利用を実現しつつ、生活改善を図る必要がある。
4. 事業の目的	村人が持続的で安定した生活を営むために、生活を支える森林の権利を確保し、村の森林資源の管理能力を高めるとともに、農業支援を通じた生活の向上を図る。
5. 対象地域	カムアン県6郡およそ50村
6. 受益者層	<ul style="list-style-type: none"> ● 森林保全活動：カムアン県6郡の約50村の村人（約15000人） ● 複合農業活動：カムアン県21村の村人（約6000人） ● カムアン県及び県内6郡の農林局の行政官
7. 活動及び期待される成果	<p>【期待される成果1】 村人の森林資源の管理能力が強化される</p> <p>【活動】 村人に対する森林管理研修、地森林委譲の実施、経験交流ワークショップ・スタディツアー。土地森林委譲担当行政官に対する土地森林委譲実施研修。</p> <p>【期待される成果2】 地域の資源を活用した複合農業が実践される</p> <p>【活動】 家庭菜園支援、用水環境の改善、化学肥料や農薬の影響を考えるワークショップ。</p> <p>【期待される成果3】 複合農業の篤農家が育成され、活動を広げることができるようになる</p> <p>【活動】 果樹栽培を中心とする複合農業の普及、稲作試験栽培、篤農家による活動の拡大、経験交流ワークショップ・スタディツアー。</p>
8. 実施期間	2005年9月～2008年9月（3年間）
9. 事業費	第一年度契約金額：14,259千円
10. 事業の実施体制	<p>カウンターパートはカムアン県農林局。</p> <p>JVCの現地体制としては、プロジェクトマネージャー1名、現地調整員1名、複合農業専門家及び補佐（ラオス人）2名、森林保全担当専門家及び補佐（ラオス人）2名、現地調整員補佐（ラオス人）1名の計7名。</p> <p>日本国内体制としては、国内調整員1名およびプロジェクト支援委員会（Project Support Committee：PSC）によるアドバイスなど。</p> <p>このほか、同様の事業を展開している海外事務所からのアドバイスを得る。</p>
II. 実施団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター
2. 活動内容	アジア、アフリカの9ヶ国・地域で、開発協力、緊急救援などを展開。日本国内では調査提言活動を行なっている。